

復活の主日の説教

金 大烈 神父 2009年4月12日(日)

《強く願う心》

おめでとうございます。

皆さん福音書は4つありますが、順番わかりますか？最初にマタイ次にマルコ、そしてルカ、最後にヨハネで4つの福音書があります。今日のイエス様が復活されたことの内容を書かれているところで4つの福音書の中に、必ず現れている人物がいます。それは マグダラのマリア です。

いろいろな罪の経験が多かったマグダラのマリアにイエス様がなぜ一番大切な復活の姿を見せた事については昨年説明しましたので今日は違う面を考えて行きたいと思います。

この4つの福音書でマグダラのマリアが見せてくれた心はただ一つです。それは "強く願うこと" でした。洗礼を受けたと言っても、信者だと言っても死ぬ時まで復活の体験が出来ないことが多いです。結局復活の体験ができる為にはただ一つの条件があります。それは "強く願うこと" です。今日の福音でもこのように説明しています。「朝早く、まだ暗いうちに」と言う事は、昼間ではなく、人々がまだ動き出さない時です。イスラエルの墓地は村から離れた山にあり女の人に行くには危ない場所でしたが、彼女はあまりにも心が痛くて、先生と呼ばれるイエスその人に会いたくて怖さも忘れ周りの人々の事も意識せずに山(墓地)に走ってまいります。なぜでしょうか？願う心です。願う心はどのように生じたのでしょうか？今日の福音で一番大切なところです。皆様、神様に愛されているのを信じていますか。愛されていると教えてもらい、愛されていると思われているんでしょう。しかし少し逆に考えてみましょう。イエス様も愛されたいのです。いつもイエス様は私達を愛するというイメージが出来ています。逆に考えてみましょう。私達がイエス様を愛することは出来ないでしょうか？イエス様を本当に愛しているという気持ちが毎日生じているのでしょうか？イエス様に会いたくてたまらないという心を持った事はありますか？自分の心が痛くなった時、イエス様もこのように痛い思いをしていると考えた事はありますか？

そうです、復活ということはイエス様に愛されている事だけを感じるのではなく、私達が愛さなくてはならない事を再認識し、私からの愛がある時、イエス様の復活の体験を身を持ってする事が出来るのです。

皆様今日のミサを通してもう一度考えてみましょう。一回でも自分から先にイエス様に対して愛を見せた事がありますか？一番大事な事です。振り返って質問します。「イエス様を愛していますか？」そうです、皆様が本当にイエス様に会いたくて毎日イエス様が浮かぶようになったら皆様は必ず復活の体験が出来ると思います。

もう一つ、昨年申し上げましたが復活の結果、実りは何でしょう？

質問します。「今の心の状態はどうなっていっちゃいますか？」

今心配していることありますか？ありますね。仕事の事、家族の健康の事などいろいろな事が心配ですね。その心配によって生じる事が不安です。しかし復活の体験のプレゼントは平安な心です。イエス様が復活なさって初めてかけた言葉は何でしょうか？『あなたに平和があるように。』そうしたら復活の体験をしていただいたその平和と言う心は不安・心配が無くなる事ですか？いいえそうではありません。心配は心配でそのまま心の中にあります。ただ違うのはその心配に負けない心です。平安な心が与えられても、やはりいろいろな難しさはあります。しかしその難しさの意味やその難しさをどのように乗り越えられるのか、どのように勇気を出せばいいのか、そういう知恵が与えられます。だから私達は平安な心を保ちながら生きていかななくてはならないのです。心配な気持ちになった事に縛られて、いろんな人々に不安な顔を見せるのは自分らしい顔ではありません。心配はあります。しかしその心配が問題にならない事がカトリック教会の信徒がイエス様から頂いた特別な恵みだと思えます。

皆様もう一度心から祝う挨拶を申し上げます。
ご復活おめでとうございます。